

平成23年11月14日

車掌が普通列車乗務中に文庫本を読んでいたことについて

車掌が、普通列車乗務中に文庫本を読んでいたことが判明しましたので、お知らせします。

1. 概 況

車掌が普通列車乗務中に文庫本を読んでいた、というお客様からの電話を11月12日(土)にいただき、該当する社員に確認したところ、苫小牧8時13分発ほしみ行き普通列車乗務中に、サッポロビール庭園駅停車中、及び島松～北広島間、北広島～上野幌間において、乗務員室で文庫本を読んでいたことが判明しました。

2. 対 策

5月の石勝線列車脱線・火災事故発生以降、現在「安全性向上のための行動計画」浸透のため弊社役員が現場へ赴き風土改革に向けて取り組み、緊張感を持った執務を行うよう指導に努めているところです。

このような最中、安全に対する信頼を損なう事象の発生を受けて、社員として「すべての業務は『お客様の安全』のためにある」という意識改革の再徹底、及び車掌として「列車の責任者」という職務を自覚させるとともに、公共交通機関としての役割・使命を果たすべく、乗務員の添乗指導強化及び個々人の指導に努めてまいります。